

特定非営利活動法人日本栄養改善学会NPO第17期11月度理事会議事録

- I. 日 時：2019年11月17日（日）11:00～16:20
- II. 場 所：東京都港区 T K P田町カンファレンスセンター
- III. 出席者数：理事総数20名 出席理事数20名
- IV. 出席理事氏名：村山伸子（理事長・議長）、南久則（副理事長）、赤松利恵、荒井裕介、小原仁、菊地和美、木戸慎介、木村典代、小切間美保、酒井徹、下浦佳之、瀧本秀美、武見ゆかり、中出美代、中村美詠子、山本浩範、由田克士、上西一弘（委任出席）、塚原丘美（委任出席）、名和田清子（委任出席）

出席監事氏名：川島由起子、富田教代

その他の出席者：竹内弘幸（第66回学術総会会長）、山部秀子（第67回学術総会会長）

V. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、赤松利恵理事及び荒井裕介理事を選任することを全員異議なく承認した。

VI. 審議事項 ※（ ）は提案説明者

【I. 庶務関連事項】

1. 執行体制の整備（村山理事長）
2. 会員の動向（村山理事長）
3. 会員定着対策（南副理事長）
4. 認定NPO法人の申請（南副理事長）
5. 学術総会の運営に関する申し合わせの改定（村山理事長）
6. 被災会員への対応（村山理事長）
7. 次期評議員選出スケジュール（村山理事長）
8. 今後の会議・活動予定（村山理事長）

【II. 財務関連事項】

1. NPO第17期経費執行状況（村山理事長）

【III. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告（中村編集担当理事）
2. 学会監修「教科書シリーズ」（村山理事長）
3. 栄養学雑誌サプリメント「管理栄養士・栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム作成に向けた調査研究」（赤松理事）
4. 栄養学雑誌サプリメント発行依頼（瀧本理事）

【IV. 学術関連事項】

1. NPO第17期事業執行状況（武見学術担当理事）
2. 第66回学術総会開催報告（竹内第66回学術総会会長）
3. 第67回学術総会準備状況（山部第67回学術総会会長）
4. 第68回学術総会準備状況（村山理事長・第68回学術総会会長）
5. 2020年度学会賞・奨励賞の選考（武見学術担当理事）
6. 管理栄養士の教育のあり方委員会報告（村山理事長）
7. 利益相反マネジメント（武見学術担当理事）
8. 「健康な食事・食環境」推進事業（武見学術担当理事）

9. 食環境整備推進委員会報告（赤松理事）
10. 食品データベースに関する連絡・検討会報告（由田理事）
11. 実践栄養学研究セミナー事業（武見学術担当理事）
12. 関連学協会等との連携（回覧資料）
 - （1）公益社団法人米穀安定供給確保支援機構「令和元年度食育健康サミット」後援
 - （2）日本小児医療保健協議会栄養委員会「第14回子どもの食育を考えるフォーラム」後援
 - （3）公益社団法人日本栄養・食糧学会関東支部「第22回健康栄養シンポジウム」後援
 - （4）乳の学術連合「2020年度乳の学術連合学術研究公募」周知協力

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業（酒井広報担当理事）
2. JSNDメールニュース事業（酒井広報担当理事）

【VI. 国際関連事項】

1. 国際活動推進委員会報告（瀧本国際担当理事）

【VII. 厚生労働省委託事業】

1. 令和元年度管理栄養士専門分野別人材育成事業 教育養成領域での人材育成（村山理事長）

【VIII. 支部会報告】

1. 支部会活動報告
 - （1）北海道支部会（菊地理事）
 - （2）東北支部会（小原理事）
 - （3）関東・甲信越支部会（木村理事・副支部長）
 - （4）北陸支部会（山本理事）
 - （5）東海支部会（中出理事）
 - （6）近畿支部会（由田理事・支部長）
 - （7）四国支部会（酒井理事・支部長）
 - （8）九州・沖縄支部会（南副理事長）

Ⅶ. 議事の経過の概要及び議決の結果

本理事会は11月1日就任役員の最初の理事会であるため、冒頭、村山理事長から、任期中の活動ベースについて、資料により説明があり、理事各位の協力をお願いしたい旨、挨拶があった。

【I. 庶務関連事項】

1. 執行体制の整備・・・11月1日に就任した理事の所掌と担当、食環境整備推進委員について、原案を承認した。10月31日付で10名の評議員が退任したことが報告され、11月1日現在の評議員名簿（432名）が配布された。

〔食環境整備推進委員〕赤松利恵（委員長）、石田裕美、串田修、黒谷佳代、高戸良之、高橋希、武見ゆかり

2. 会員の動向・・・①会員の減少傾向が続き、今期の正会員数は5,000名を割り込む可能性があること、②協力会員は、株式会社リンクアンドコミュニケーション（東京都）が入会し、株式会社ヘルスケアシステムズ（東京都）が退会したこと、が報告された。11月13日現在の支部会別・都道府県別会員数の一覧と、協力会員名簿（21社）が配布された。

3. 会員定着対策・・・前理事会から継続審議となっている「会員定着対策」について、今までの経緯が配布された。具体策の一つとして、次代を担う学生会員の定着を目途に、第67回学術総会から実施する「学生会員（学部生・院生）の交流の場（事業）」の担当者を次のとおり承認した。

[学生会員の交流事業] 南副理事長（リーダー）、菊地理事（庶務・67回担当）、中出理事（学術）、山本理事（広報）

4. 認定NPO法人の申請・・・NPO第16期（2018年）通常総会で「認定NPO法人の申請の検討」が承認され、申請条件である2年の実績判定期間を満たしたため、11月11日に東京都の事前相談を受けた。相談の結果、準備した申請書類について、複数の指摘や修正の要請があったことが報告され、これについて庶務・財務合同WGが対応することを了承した。
5. 学術総会の運営に関する申し合わせの改定・・・2019年10月の消費税率の改定に伴い、学術総会事業にかかる消費税算出方法を改定する原案が承認された。なお、申し合わせは内規であるため、公開する本理事会議事録では、改定後の申し合わせの添付を省略することが説明され、これを了承した。
6. 被災会員への対応・・・激甚災害（第16条、第17条適用）に指定された「令和元年10月11日から同月14日までの間の暴風雨及び豪雨による災害」の被災会員に、理事会申し合わせによる対応（会費の免除など）を実施したことが報告され、これを了承した。
7. 次期評議員選出スケジュール・・・原案の選出スケジュールを承認した。次期評議員候補者選出の参考として、正会員数を基準に算出した支部別目標評議員数が配付された。日本栄養士会長推薦の評議員候補者について、下浦理事に対応を依頼した。
8. 今後の会議・活動予定・・・2019年11月以降の会議・活動予定が配布された。2020年夏に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることなどから、会議の開催月を一部調整した。主な予定は次のとおりである。

[総会・評議員会] 9月2日

[理事会] 4～5月、9月1日または2日

[監事会] 8月

[役付理事打合せ] 4月、6月

【Ⅱ. 財務関連事項】

1. NPO第17期経費執行状況・・・11月13日現在の経費執行状況（活動計算書、貸借対照表、事業別損益計算書、収支計算内訳書）が配付され、これを了承した。

【Ⅲ. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告・・・10月31日現在の論文受付、審査、掲載の状況が配付され、これを了承した。第66回学術総会で初めて実施した「編集委員と話そうコーナー」の実施状況が配布され、対応にあたった編集委員からもポジティブな感想を得ていることから、継続事業としたい旨、説明があり、これを了承した。2020年1月から編集体制を見直し、責任編集委員体制を導入したい旨、説明があり、これを了承した。具現化にあたっては編集委員会に一任することも了承した。2020年の編集委員会の開催予定について原案を承認した。
2. 学会監修「教科書シリーズ」・・・2021年春の刊行を目指している「管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム準拠教科書シリーズ」の概要（各巻のタイトル、編者）が配布され、これを了承した。
3. 栄養学雑誌サプリメント「管理栄養士・栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム作成に向けた調査研究」・・・サプリメントの目次が配布され、これを了承した。
4. 栄養学雑誌サプリメント発行依頼・・・国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所100周年記念「栄養学雑誌特別号」の発行依頼文書が配布され、審議の結果、これを承認した。「栄養学雑誌Supplement出版に関する申し合わせ」に基づき、経費の詳細は、

財務・編集担当理事に一任することを了承した。

【IV. 学術関連事項】

1. NP0第17期事業執行状況・・・11月13日現在の事業執行状況が配付され、これを了承した。
2. 第66回学術総会開催報告・・・実施概要が配付され、これを承認した。会計報告は、本部税理士の指導後に次回理事会で報告することを了承した。第66回学術総会のアンケート結果が配布された。
3. 第67回学術総会準備状況・・・事業概要が配布され、これを承認した。プログラムの構成に関わる本部関連企画については、12月1日の学術総会引継会までに、概要（企画タイトル、会場、参加人数、開催日等）を示すことを確認した。
4. 第68回学術総会準備状況・・・第22回国際栄養学会議として開催する第68回学術総会の概要が配布された。本学会独自プログラムについて、審議の結果、次のとおり承認した。
〔第68回学術総会：日本栄養改善学会独自プログラム〕
期日：2021年9月13日（月）
会場：よみうりホール（予定）
内容：評議員会、通常総会、学会賞等表彰式、学会賞等受賞講演
参加費：無料（9月13日の参加費）
予算：300万円（学術総会準備金相当額）
5. 2020年度学会賞・奨励賞の選考・・・次の選考日程を承認した。過去の選考状況が配布され、推薦件数が極めて少ない実態を確認した。
〔選考日程〕
2月12日 候補者推薦依頼文書送付（全評議員）
2月下旬 栄養学雑誌第78巻第1号発送（学会賞・奨励賞候補者推薦依頼）
3月19日 推薦締切
4～5月 学会賞等選考委員会・理事会（受賞者決定）
6. 管理栄養士の教育のあり方委員会報告・・・現任期（2年間）の役割として、①令和元年度管理栄養士専門分野別人材育成事業、②本学会が厚生労働省から受託したコアカリ事業についての問い合わせの対応、とすることが提案され、これを承認した。従来、本委員会が担当していた「実践栄養学研究セミナー」事業申請書の審査は、役付理事が行うことを了承した。
7. 利益相反マネジメント・・・11月1日に就任した「役員などのCOI自己申告書」の提出にあたり期限厳守で対応することを確認した。COI申告書の検証と委員長選出のため、COI委員会を開催することが報告された。
8. 「健康な食事・食環境」推進事業・・・本事業の実施体制について、現、次期理事長・財務担当理事・事務局の打ち合わせ、ならびに、認証制度WGの打ち合わせの概要が配布された。コンソーシアムの世話役を務める本学会の喫緊の課題として、持続的な運営体制を担保する予算の確保と事務局体制の整備を認識した。
9. 食環境整備推進委員会報告・・・10月10日に開催した第3回委員会報告が配付され、これを了承した。
10. 食品データベースに関する連絡・検討会報告・・・給食施設における献立作成および栄養成分表示に関するアンケートの実施状況・中間報告が配布され、これを了承した。
11. 実践栄養学研究セミナー事業・・・第14期からのセミナー開催状況、継続的な開催に向けた課題、第66回学術総会で実施したワークショップの概要が配布され、これを了承した。
12. 関連学協会等との連携・・・次の事業について対応したことが回覧資料により報告され、これ

を了承した。

- (1) 公益社団法人米穀安定供給確保支援機構「令和元年度食育健康サミット」後援
- (2) 日本小児医療保健協議会栄養委員会「第14回子どもの食育を考えるフォーラム」後援
- (3) 公益社団法人日本栄養・食糧学会関東支部「第22回健康栄養シンポジウム」後援
- (4) 乳の学術連合「2020年度乳の学術連合学術研究公募」周知協力

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業・・・会員のページの周知・利用について、理事各位・支部会から積極的な協力をいただきたい旨、発言があった。8月1日から11月13日までの更新情報が配付され、これを了承した。
2. JSNDメールニュース事業・・・配信状況、「役員からの一言」担当一覧などが配付され、これを了承した。

【VI. 国際関連事項】

1. 国際活動推進委員会報告・・・第22回IUNS-ICN事業（2021）、大韓地域社会栄養学会との連携、アメリカ栄養教育行動学会との連携、栄養改善事業の国際展開プラットフォーム事業（NJPPP）の状況が配布され、これを了承した。第68回学術総会として実施する第22回IUNS-ICNの周知のため、2020年2月に刊行する栄養学雑誌から色紙で案内を掲載することを了承した。

【VII. 厚生労働省委託事業】

1. 令和元年度管理栄養士専門分野別人材育成事業 教育養成領域での人材育成・・・委託事業の概要、スケジュール、実施体制について配布され、これを了承した。11月18日付けで委員の委嘱を行うとともに、第1回会議の開催準備を早急に行うこととした。

【VIII. 支部会報告】

1. 支部会活動報告

- (1) 北海道支部会・・・第17回支部会学術総会は黒河あおい名寄市立大学准教授を学術総会会長とし、12月8日に天使大学で市民公開講座、自由集会とともに開催する。日本栄養士会生涯教育、病態栄養専門管理栄養士、日本糖尿病療養指導士の単位認定について申請準備中である。
- (2) 東北支部会・・・第6回支部会学術総会は前田朝美東北女子大学准教授を学術総会会長とし、11月2日～3日に東北女子短期大学平成館で開催した。あわせて第16期の事業報告の詳細が配布された。
- (3) 関東・甲信越支部会・・・市民公開講座は廣田直子松本大学教授を担当幹事とし、9月29日に松本大学で開催した。第7回支部会学術総会は瀧本秀美医薬基盤・健康・栄養研究所部長を学術総会会長とし、2月29日に医薬基盤・健康・栄養研究所で開催する。実践栄養学研究セミナーは小澤啓子女子栄養大学短期大学部専任講師を担当幹事とし、18期開催に向けて計画している。
- (4) 北陸支部会・・・第15回支部会学術総会は北山富士子福井県栄養士会会長を学術総会会長とし、3月1日に福井商工会議所国際ホールで開催する。
- (5) 東海支部会・・・第9回支部会学術総会は今枝奈保美至学館大学教授を学術総会会長とし、6月7日にウインクあいちで市民公開講座とともに開催する。実践栄養学研究セミナーは新コースとし、講師スタッフも若手に一新して8月17日から4回コースで開催中である。
- (6) 近畿支部会・・・第18回支部会学術総会は木戸慎介近畿大学准教授を学術総会会長とし、3月15日に近畿大学で開催する。実践栄養学研究セミナー（ステップ2）は、9月から3回コースで開催中である。
- (7) 四国支部会・・・第7回支部会学術総会は、丸山広達愛媛大学准教授を学術総会会長とし愛媛

大学後援で、4月25日に愛媛大学で開催する。

(8) 九州・沖縄支部会・・・第7回支部会学術総会は、甲斐敬子南九州大学教授を学術総会会長とし3月14～15日に南九州大学で開催する。本支部会初の実践栄養学研究セミナーを、2月22日から2回コースで開催する。

以上